

清掃ボランティアさんにお世話になっています

当院では、患者さんがより快適な気持ちで治療を受けていただけるよう、定期的に清掃ボランティアさんにお世話になり、環境整備を行っていただいています。

今回は、塩冶百寿会奉仕部のボランティア活動のご報告です。
塩冶百寿会奉仕部(代表奥田利晃氏)の皆さんには、4月から11月までの間(5月・10月は百寿会青年部として活動)毎回6名程度の方が、主に第1土曜日の朝8:00から約1時間、病院正門から池回りを中心に草刈等の作業を行っていただいています。

6月8日(土)には、6名の方により、正門石垣の清掃を行って頂きました。6月にしては汗ばむ程の天候でしたが、作業もはかどり1時間後にはとてもきれいにしていただきました。

百寿会奉仕部の皆さん、いつも有難うございます。



清掃後



当日の作業の様子

島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

8月15日～9月14日

対象者: 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生

開催日	時間	開催名	場所(★印 学外開催)	対象者	主催者
8/19(土)	17:45～19:00	第20回出雲リハビリテーション研修会	★出雲医師会館	医療	リハビリテーション科
9/5(火)	18:00～19:00	看護師のためのがん診療セミナー	B病棟4階 カンファレンスルーム	医療	先端がん治療センター、 腫瘍・血液内科
9/14(木)	19:00～	第18回島根整形外科スポーツ医学フォーラム	★ニューウェルシティ出雲	医療 本学	島根整形外科ス ポーツ医学フォ ーラム/アステラ ス製薬株式会社

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



NEWS



CONTENTS

- ・ 遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)に対する診療体制を確立しました
- ・ 眼腫瘍専門外来について
- ・ 清掃ボランティアさんにお世話になっています
- ・ 島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報



遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)に対する診療体制を確立しました

産科婦人科 診療科長 きょう さとる
京 哲

当院ではこの度、HBOC に対する遺伝子検査、カウンセリング、リスク低減卵巣卵管切除術(RRSO)を行う包括的診療体制を整えましたのでご報告致します。

遺伝性乳がん卵巣がん(Hereditary Breast and Ovarian Cancer:HBOC)とは？

乳がん、卵巣がんのうち遺伝要因がはっきりわかっているがんの一つで、新規に発生する我が国の卵巣がん、乳がんのそれぞれ約 1 割を占めます。DNA の修復を司る BRCA1 または BRCA2 の遺伝子の変異が発症に関与します。母親、父親からそれぞれ 1 つずつ、合計 2 本受け継ぐ遺伝子のうち、片方に BRCA1 または BRCA2 の変異があれば病気が発症する可能性がある常染色体優性遺伝で、両親のうち一人が HBOC であれば、子供が HBOC になる可能性は 50% です。

BRCA1 または BRCA2 に異常がある HBOC の方の場合、がんになる確率は年齢と共に上昇し(図)、卵巣がんになる可能性は通常の 10 ～ 40 倍、乳がんになる可能性は 6 ～ 12 倍程度と考えられます。

そのため、HBOC の家系では何人もの親戚が卵巣がんや乳がんにかかるという現象がみられます。HBOC の特徴として若くして乳がん、卵巣がんになる、乳がんと卵巣がんの両方にかかる、左右両方の乳がんになる、男性でも乳がんになる、などが挙げられます。そこで、卵巣がんや乳がんになられた方に対して、ご自身にほかのがんがないか、血のつながった親戚が卵巣がんや乳がんなどにかかったひとがいないか、詳しく尋ねることが HBOC を発見する契機になります。

HBOC を診断するための手順と検査法

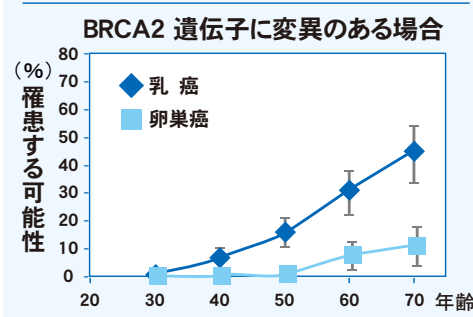
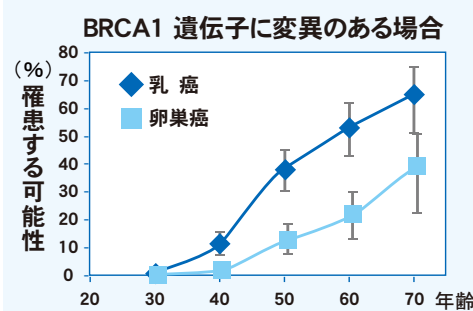
HBOC の診断は BRCA1、BRCA2 の遺伝子検査によって行われます。

まず、家族歴を詳細に聞き取り、遺伝子検査を行うべきかどうかを判断します。遺伝子検査で「BRCA1、BRCA2 に遺伝子異常がある」という結果になった場合は、調べた本人のみならず親戚にも心理的な側面を含め、さまざまな影響を及ぼす可能性があるため、十分に配慮した上で対応する必要があります。家族歴から HBOC が疑われたり、乳がんや卵巣がんを発症し HBOC を心配されている患者さんに対して、当院では臨床遺伝診療部および遺伝性婦人科腫瘍外来にて遺伝子検査の必要性、検査結果、予防法についての綿密なカウンセリングを行っております。BRCA 検査も当院でお受けいただく事が出来ます。

HBOC と診断された場合、医療管理にはどのような選択肢があるのか？

がんになっていない未発症の BRCA1、BRCA 2 遺伝子変異のある方に対しては、リスク低減卵巣卵管切除術(risk reducing salpingo-oophorectomy: RRSO) が現在のところ最も確実性の高い卵巣がんおよび乳がんの予防策とされています。RRSO は卵巣卵管を切除することによって卵巣がんや卵管がんになる危険性を少なくします。また、卵巣から分泌される女性ホルモンは乳がんの発生を助長するので、卵巣を切除すれば乳がんになる危険性が大幅に減ることが観察されています。当科では倫理委員会の承認を得て、平成 29 年 6 月より RRSO を行う体制を整えました。

BRCA 検査、遺伝カウンセリング、RRSO については当院地域連携センター(0853-20-2061)もしくは遺伝性婦人科腫瘍外来(0853-20-2389)まで遠慮なくお問い合わせ下さい。



眼腫瘍専門外来について

先端がん治療センター
眼科 准教授 こだま たつお
兒玉 達夫

多くのがんの治療成績が向上する一方で、希少がんについては専門とする医師や医療機関が少なく、診療ガイドラインの整備や有効な診断・治療法の開発と実用化が困難である等の問題点が指摘されています。厚生労働省は、昨年度から眼腫瘍に関する希少がん対策WGを設置し、問題点とその対策を協議し始めました。

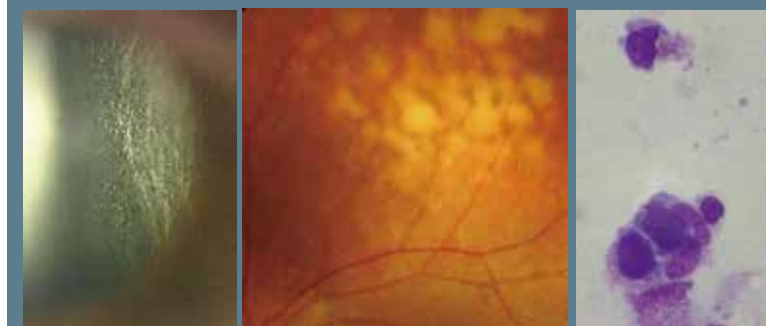
眼腫瘍はその解剖学的領域と視機能温存の重要性から、眼科単独での治療は困難なことが多く、放射線科、病理部、検査部による確定診断、放射線治療科、腫瘍・血液内科、皮膚科、形成外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、歯科口腔外科、呼吸器・化学療法内科、小児科等、全科横断的な協力が必要です。当院では眼腫瘍専門医と各科の臨床資源を最大限に活用することで、眼腫瘍患者さんに対して高水準かつ専門的な診療を提供することが可能です。

眼腫瘍の問題点の一つに、患者さんだけでなく医療機関自体も眼腫瘍の専門施設を把握できていないことがあります。悪性腫瘍の場合、早期発見・治療に至らず、手遅れになる症例も少なくありません。眼腫瘍以上に眼腫瘍医は希少であるため、すべての眼腫瘍患者さんが最善の医療を受けられるよう、外に向けて発信する必要があります。

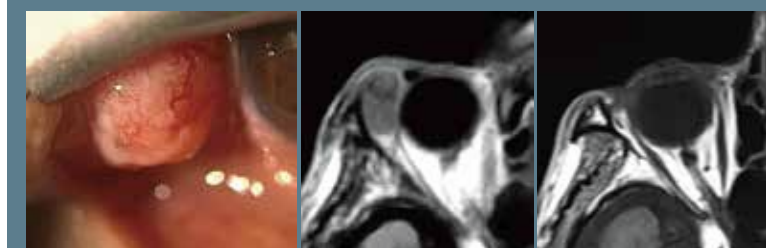
この度、先端がん治療センターのがん診療部門内に眼腫瘍ユニットが設定されました。中国四国地区の大学病院では初の「眼腫瘍専門外来」を立ち上げるにより、県内外からの眼腫瘍患者さんの集積を促進するとともに、本邦の眼腫瘍治療の進歩と発展に寄与することを目指します。眼腫瘍専門外来では、悪性腫瘍だけでなく良性腫瘍、バセドウ病眼症や IgG4 関連眼疾患等の眼窩炎症性疾患を含む、すべての腫瘍性病変に対応いたします。



下眼瞼結膜から涙丘および球結膜にかけて扁平上皮癌が広がっている(左)。MMC 点眼による chemoreduction 後(右)。



眼内悪性リンパ腫による硝子体混濁(左)と網膜浸潤(中)。硝子体手術による細胞診(右)。MTX 硝子体内注射と放射線照射を施行。腫瘍・血液内科で化学療法を行い 10 年経過するも中枢神経への波及をみない。



涙腺多形腺腫源癌の治療前(左、中)。腫瘍全摘出後(右)



島大病院ニュース 2017年8月

お知らせ

防災ヘリ夜間離着陸について

このたび、島根県からの要請を受け、平成29年8月より島根県西部及び隠岐からの救急患者さん搬送を目的として、島根県防災ヘリコプター等による当院ヘリポートへの夜間運航を開始いたします。

島根県西部地域及び隠岐地域では、医師不足・当直医不足により、夜間の重症患者さんに対し受入病院の確保が困難な場合があり、夜間において救急自動車が遠距離搬送を余儀なくされることも多くあります。

夜間運航の開始は、重症患者さんの救命率の向上及び後遺症の軽減等、県民の生命を守るうえで必要不可欠なものであるとともに、西部地域、隠岐地域の医師の負担軽減にも繋がります。

浜田医療センター、益田赤十字病院、隠岐病院及び隠岐島前病院を中心とした石見や隠岐の病院からの受入れに対し、当院では24時間体制を整え、夜間の場合も当院医師が防災ヘリに同乗し、搬送元病院に迎えに行きます。また、大災害時の重症患者さんの広域搬送、物資の搬送も可能となります。



ヘリコプター着陸時写真C病棟屋上より



平成29年8月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2017年8月

お知らせ

平成29年度 島根大学病院ボランティアコンサート

当院では、患者さんやご家族のみなさんに心とむひとときを過ごしていただけるよう、定期的に「病院ボランティアコンサート」を実施しています。

今年度は14団体からの出演希望があり、これまで次のとおり開催しました。

開催日時	団体(個人)名	タイトル
4月21日(金)	白築 純	いのちを抱きしめて
5月12日(金)	出雲邦舞会	一日一日
5月26日(金)	合唱団 アルページュ	風薫るハーモニー
6月16日(金)	出雲交響吹奏楽団 -緑-	ご縁コンサート
7月21日(金)	安来節保存会 斐川支部	山陰民謡と民謡の夕べ
今後の開催予定は次のとおりです。		
8月18日(金)	島根大学 邦楽部	
9月15日(金)	島根大学 フローラ室内楽団	
9月29日(金)	出雲楽友協会	
10月13日(金)	出雲ハーモニカ同好会	
10月27日(金)	出雲ルビーズ	
11月17日(金)	創作朗読楽団「Repos(ルポス)」	
12月8日(金)	島根大学 混声合唱団	
12月22日(金)	島根大学病院ドクターズ木管五重奏団	
1月19日(金)	ハーモニカボランティア 大坂	

開催場所 附属病院1階 待合ホール

開催時間 19時から



問合せ先 医療サービス課ボランティア担当 TEL 0853-20-2068



平成29年8月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2017年8月

ご報告

「ほっとサロン11周年記念コンサート」が開催されました

がん患者さんやそのご家族が集い語り合う場として、毎週月曜日に開催されている「ほっとサロン」。11周年おめでとうございます。

コンサートでは、雲南市の「チェリーハーモニー」の皆さんのハーモニカ演奏がホールに響き渡り、たくさんの聴衆の皆さんと一緒に心なごむ時間を過ごすことができました。

話をしたり聴いたりすることで、つらい気持ちが落ち着き、癒やされ、孤独感が和らぐことを目的として、がん治療体験者やご家族によって、自主的に開催されている「ほっとサロン」。これからも、15周年、20周年と、長く患者さんご家族のために続くことを願っております。(がん相談員 榎原貴子)



ほっとサロン 世話人 小林さんの挨拶



「チェリーハーモニー」の皆さん

「ほっとサロン」のご案内

- **日 時**: 毎週月曜日 10時～15時
 - **場 所**: 外来診療棟3階 外来化学療法室前
 - **対象者**: がん患者さん、ご家族等
- 気軽に、ご参加ください



島大病院ニュース 2017年8月

ご報告



非常食を準備していますか？

栄養治療室 主任栄養士 はしもと ようこ
端本 洋子

当院では災害に備え、患者さんと職員の非常食を備蓄しています。

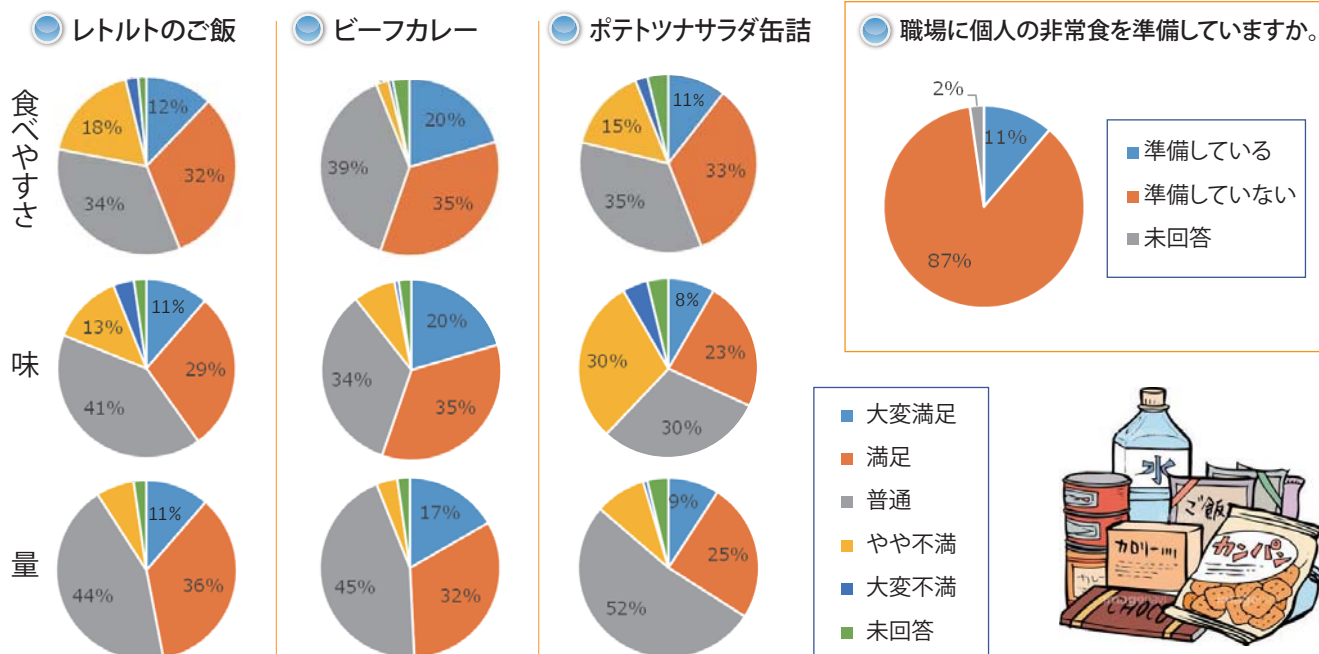
このたび職員用の非常食の賞味期限が近づいたため、職員を対象に試食と合わせてアンケート調査を行いました。アンケートでは、レトルトのご飯、ビーフカレー、ポテトツナサラダ缶詰の食べやすさ、味、量についての評価と職場に個人の非常食を準備しているかについて調査しました。まず試食の評価としては、ビーフカレーはおおむね良好な評価でしたが、特にレトルトのご飯は食べやすさについて2割がやや不満、不満という回答でした。またポテトツナサラダ缶詰については、食べやすさ、味についての評価が低いという結果でした。今後は、そのままの状態でも食べやすく、保存管理がしやすく、非常食であっても、おいしさもある程度考慮された内容を検討していく必要があると考えています。

また、職場に非常食を準備している職員は1割程度で、8割以上の職員が職場に個人の非常食を準備していないという結果になりました。病院の職員用の非常食は3回分備蓄していますが、非常時にはスムーズに職員に行き渡らない可能性があるため、個々での準備も重要になってきます。

患者さんを守るためには、まずは、自分自身が元気でいることが必要です。これを機会に職員ひとりひとりが非常時への備えと危機管理に対する認識を高めていくことができるとよいと思います。9月1日の「防災の日」を前に非常食について考えてみてはどうでしょうか？

アンケート結果

アンケート配布数250 回収数102 回収率 41%





島大病院ニュース 2017年8月

お知らせ

機能的脳神経外科外来を行っています

脳神経外科 副診療科長 ながい ひでまさ
永井 秀政

当院は2016年4月より脳深部刺激療法を開始しました。これは胸部の皮下に留置したパルス刺激装置から大脳に埋め込んだ電極を介して神経を刺激し調節する治療法です。

今年4月には毎週水曜日の1診を機能的脳神経外科の特殊外来としており、一般的な脳神経外科疾患ではなく、主に機能神経外科の治療適応となる薬剤抵抗性の機能的脳疾患を対象として診察しています。例えば、薬物抵抗性の不随意運動症で、振戦やパーキンソン病に対する脳深部刺激療法(DBS)(図1)、難治性の神経原性疼痛に対する脊髄刺激療法(SCS)(図2)や運動野刺激療法(MCS)(図3)、痙縮に対するバクロフェン髄注療法(ITB)(図4)などです。他院でのDBS治療後で、定期的な刺激調整を必要とする場合も、当院で対応をしています。また、成人のてんかん診断や薬物療法、てんかん外科治療の適応判断もいたします。詳細はお問い合わせ下さい。



図1:DBS



図3:MCS

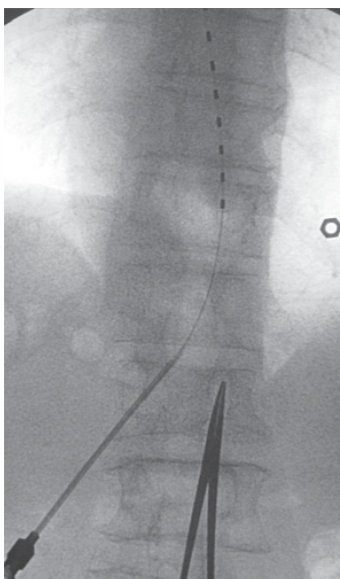


図2:SCS

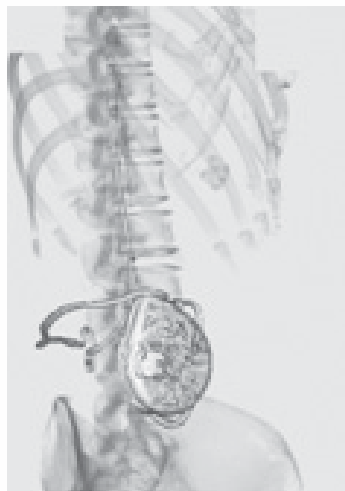


図4:ITB

問合せ先 脳神経外科(医局) TEL: 0853-20-2245



平成29年8月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2017年8月

お知らせ

病院内の「市民ギャラリー」の作品が7月から新しくなりました!

当院では、B病棟1階に「市民ギャラリー」として、市民の皆さまが無料で展示していただけるスペースを設けており、多くの方にご利用いただいております。

7月3日(月)からは、地元である出雲西高等学校写真部の皆さんの作品を展示しています。

出雲西高等学校写真部は、写真甲子園(全国高等学校写真選手権大会)に出場したこともあるなど、県内屈指の強豪校です。

今回展示している作品は、風景画5枚と組写真1点(7枚)のあわせて12枚となっております。

組写真とは、1つのテーマで複数の写真を構成し、編集したもので、今回展示している作品は、平成28年度写真甲子園中国ブロックの決勝に進出した作品です。

ぜひお立ち寄りいただき、作品をご覧ください。



当院では、引き続き、皆さまからの作品を募集しております。
詳細につきましては、当院のホームページをご覧ください。
(<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/pickup/gallery.html>)

この取り組みを通じて、より一層地域に根ざした病院となるよう努めて参りますので、当院に対するご支援をよろしくお願いいたします。

問合せ先 総務課企画調査係 TEL: 0853-20-2018



平成29年8月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2017年8月

ご報告



平成29年度 えんネット交流会 —女性医師と医学生が集合!盛り上がりました!!—

地域医療支援学講座 准教授 さの ちあき
佐野 千晶

2014年度の全国調査では、全医師数の5分の1が女性医師であり、特に若い世代では女性医師の割合が増加しています。当院においても、ほぼ全ての診療科において女性医師が勤務していますが、女性医師同士で診療科横断的に交流する機会は、ほとんどありません。

今回、仕事に邁進するための工夫や、制度利用などについて情報共有を目的に女性医師18名と医学生5名の参加で意見交換を行いました。合わせて医師のお子さん6名等の、約30名が集まり、大変にぎやかな会となりました。参加医師は、研修医から卒後約30年と年代が幅広く、会の中では、院内保育所、時間外保育、育児・介護休暇制度といった当院の福利厚生や、診療科ごとのワークスタイルの現状にまで話が広がり医学生にはとても興味津々でした。「がんばっていこう!」「男性医師、女性医師と区別しなくてもいい状況になるといいね。」「活躍している女性医師が沢山いることが分かって良かった。」と医学生も一緒に話に花が咲きました。

今回の交流会では、お互いが顔見知りになれ、子育てや個々人の背景による働き方の多様性を認識出来たことが最大の成果でした。お忙しいにも関わらず参加頂き、盛会裏に終えることができましたことお礼申し上げます。

地域医療支援学講座・えんネットでは、女性医師はどうあるべきか、医療者がお互いの現状を配慮し尊重し、助け合い、切磋琢磨できる勤務環境について模索しています。

本会は、当院ワークライフバランス支援室、男女共同参画推進室とのご協力で行いました。今後のえんネット企画について、ご意見頂戴できれば幸いです。



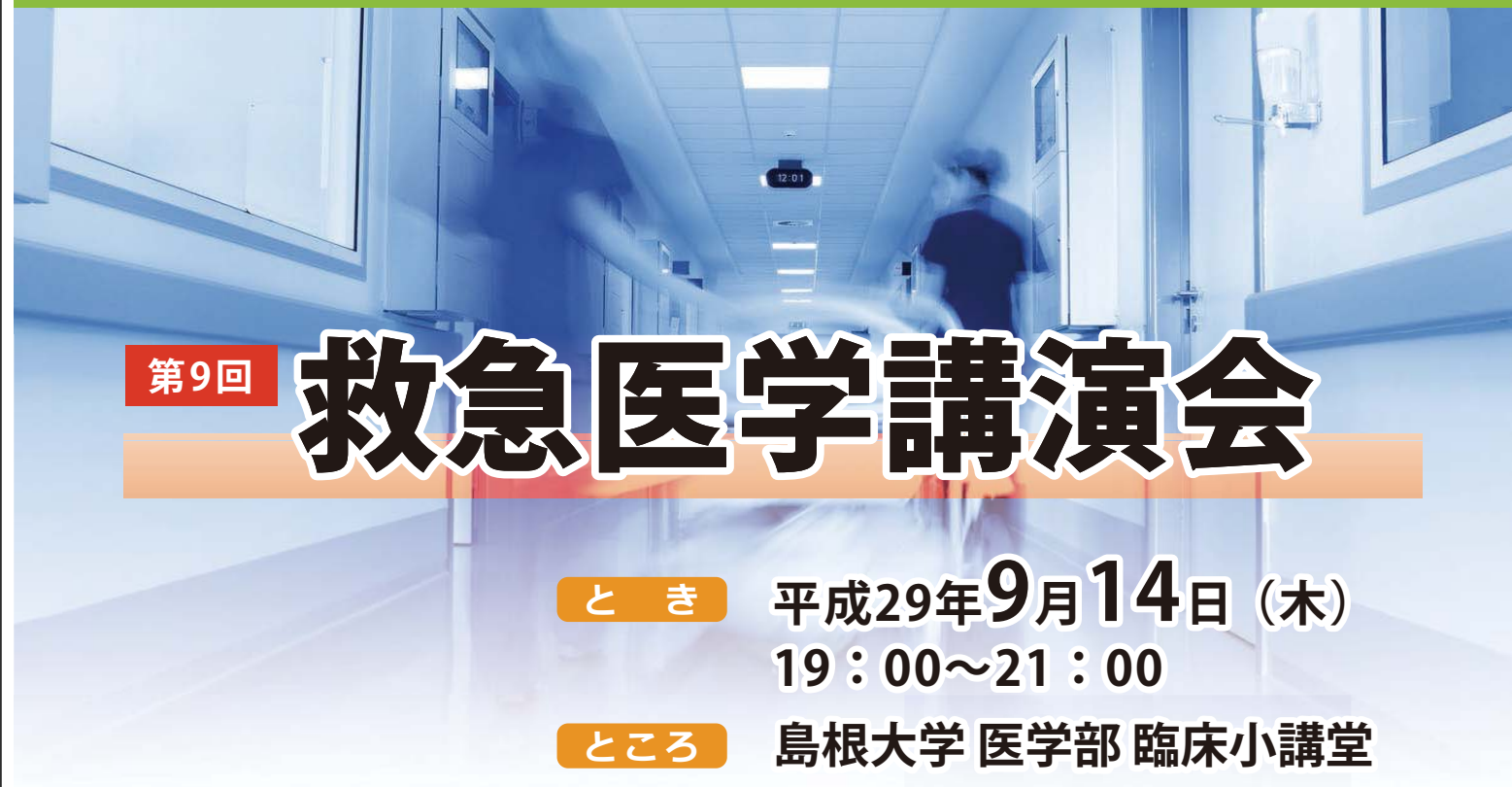
ご報告
島大病院ニュース

平成29年8月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2017年8月

お知らせ



第9回

救急医学講演会

とき

平成29年9月14日（木）
19：00～21：00

ところ

島根大学 医学部 臨床小講堂

演題 1

救急救命士による特定行為の現状と課題
—on the job training の充実にむけて

救急医学 准教授

たきなみ よしかず
瀧波 慶和

演題 2

アナフィラキシーショック



救急医学 教授

にしな まさよし
仁科 雅良

※この講演会は島根県医師会指定の生涯教育講座

2
単位

（申請中）です。

主催

島根大学医学部 救急医学

Tel / Fax: 0853-20-2402
E-mail: qqigaku@med.shimane-u.ac.jp

島根大学医学部 医師会

Tel: 0853-20-2176
E-mail: keiunkai@icv.ne.jp

お知らせ
島大病院ニュース

平成29年8月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2017年8月

ご報告



井川病院長の開会の挨拶

第9回 納涼祭を開催しました

第9回 納涼祭実行委員長 放射線部 やた のぶひろ
矢田 伸広

7月19日に、ホテル武志山荘にて第9回納涼祭を開催しました。これまで納涼祭は、当院職員の交流を図ることを目的に、各部署持ち回りで企画および運営をしてきました。

今年は、放射線部、クリニカルスキルアップセンター、総務課が担当し、バンド演奏、納涼グッズや花火などが当たる抽選会を催しました。また、当院が率先して取り組んでいます先進医療と地域医療の発展に、特に貢献した部署の功績を本祭で表彰しました。今年も、200名を超える職員とその家族の参加により、梅雨の明けた、うだるような暑さの中、涼しいビアホールにて多くの新入職員とともに交流を深め、夏を少しでも涼んでもらえたと感じています。

さて、来年は第10回 節目の納涼祭です。臨床現場の一職員が夏祭りをしたいと納涼祭を立ち上げ、当院全職員により育てられた納涼祭が、来年どのような発展を遂げているのでしょうか。



平成29年8発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2017年8月

ご報告



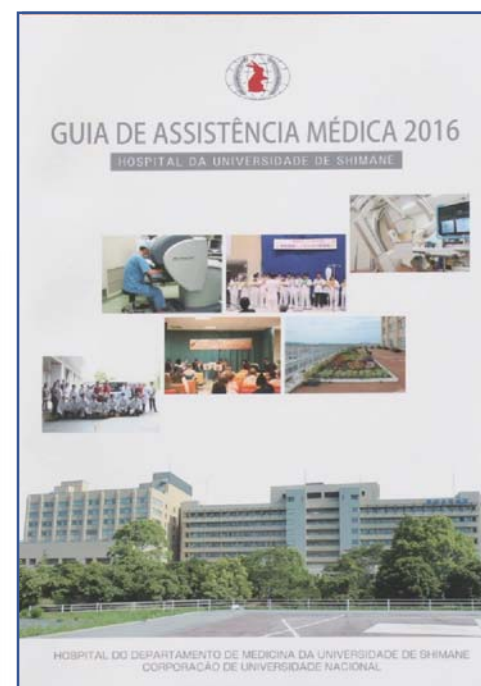
診療案内 (ポルトガル語・英語バージョン)について

平成29年6月末現在、出雲市民174,868人のうち外国人は3,267人、その内2,225人がブラジル人（ポルトガル語）、英語を母国語とする外国人は208人を占めています。

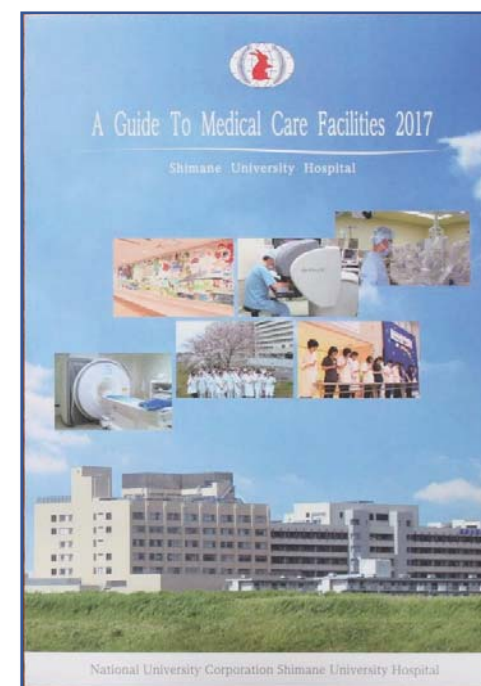
出雲村田製作所では、近年ブラジルの方の雇用を増やし1,500人が働いています。

出雲市内小中学校に通う外国人がもっとも多いのは、小学校では出雲市立塩冶小学校が59人、中学校では出雲市立第二中学校の18人で、いずれもブラジル人が7～8割を占めています。

外国人の方々に不安なく生活していただくよう、病気で病院受診が必要となった時のために、高度な医療から一般的な病気まで幅広く診療を行っている当院の受診方法、各診療科の医師、診療内容などをわかりやすく紹介した受診ガイドブックのポルトガル語版を平成29年3月に1,500部作成し、出雲村田製作所、島根富士通などに勤務している方にお届けしました。また、英語版は本年7月に500部作成し、当院総合受付などに配置しました。



診療案内 (ポルトガル語版) 2016



診療案内 (英語版) 2017



平成29年8発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





当院の病院機能評価受審について

SCIENCE

地域医療政策学講座 教授

ひろせ まさひろ
廣瀬 昌博

公益財団法人日本医療機能評価機構は、医療の質の向上を目指して1995年に設立され、1997年に病院認定事業が稼働しました。本事業は、病院の現状の客観的把握、職員の自覚と改善意欲の醸成とともに、なによりも大事なことは 認定取得により、地域住民や患者のみなさんから信頼されることが目的です。

本事業が開始されて間もない2000年頃は「医療の質」という用語が使われ始め、また、外来化学療法加算の要件として第三者機関による認定が導入されるなどして、全国的に病院認定受審の雰囲気が一気に高まりました。しかし、その後、受審病院、認定病院ともに現在も減少傾向が続いています(図)。同機構のホームページによると、本年

7月7日現在、全国8,453病院中2,177病院(認定率:25.8%)しか、認定されていません。このことは、特定機能病院である国立大学病院ですら、42施設のうち10施設が未受審もしくは未認定であることから理解できます。

一方、当院は、2004年病院機能評価の基準である評価体系第2世代第4版で初めて受審して以降、2度の更新を経験しております。前回2013年、評価体系第3世代第1版で更新し、今年度中に3度めの更新審査の予定でした。しかし、来年度から、これまでの病院種別一般病院1および2に一般病院3が追加され、特定機能病院がその対象となることがわかりました。そこで、当院は、島根県唯一の特定機能病院として、また、あらゆる意味での地域の中核病院として、その機能と使命を果たす意味からも、あらたな枠組みである「一般病院3」で受審することに致しました。

病院機能評価は、もともとハーバード大学医学部の附属施設であるマサチューセッツ総合病院(MGH)の外科医であった、Earnest Amory Codmanが当時の病院の活動状況を憂慮し、病院事業の標準化を目指して導入したEnd Result systemにその起源があります。これは1910年頃のことと、peer reviewを基盤とし、この活動がAmerican College of Surgeonsの設立、そしてJoint Commission on Accreditation of Hospitalsから、現在のJoint Commission Internationalへと発展致しました。

当院は、これからも地域住民や患者・家族のみなさんの期待に応えるべく、病院機能評価の意味を理解し、特定機能病院版受審の意義を感じながら、更新に備えたいと考えています。

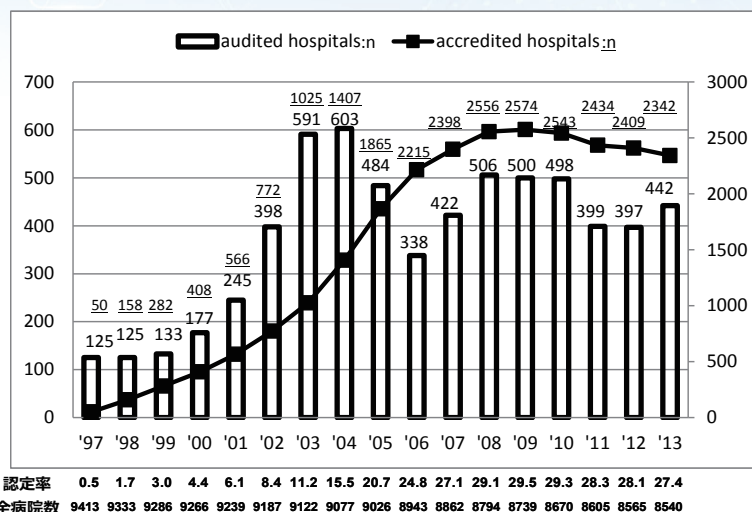
病院認定
評価体系1997-2003年
第1世代
Ver. 2.0~3.12004-2013年
第2世代
Ver. 4.0~6.02014年-
第3世代
Ver. 1.0

図 1. JCQHC認定病院・受審病院の推移

問合せ先 医療サービス課 TEL: 0853-20-2091・2065

